

私たちの湘南御行会だより

平成 25 年 3 月 15 日 133 号

「片老連」岩本楼交流懇親会開催

去る 3 月 6 日江ノ島岩本楼にて「片老連」交流懇親会が開催されました。会員の皆様全員にお声を掛けたかったのですが、片老連全体の懇親会の為、参加者の人数制限が有り「湘南御行会」からは 10 名の参加となりました。参加者は、千円の会費にしては豪華な大船軒の弁当「春のこよみ」に舌鼓を打ち、駆けつけた市長の挨拶及び来賓各位の話に耳を傾け、アトラクションのフラダンス、コーラス、日本舞踊などに見入る一日でした。来年のことなど鬼が笑うかも知れませんが、毎年開催されますので、会員の皆様には順次お声をおかけします。写真は当日のスナップです 岩田



岩本楼社長さん

祝辞を述べる鈴木市長

コーラス フレンドの皆さん





日本には節目の月が2回あります。暮れの12月と弥生3月です。12月は正月を迎えるにあたり、1年の反省と、新年に寄せる期待とが入り混じり、白紙に戻して最初から、ご破算で願いましては、の感があります。一方3月は、卒業、旅立ち、自立、友との別れ、それに続く入学、入社、新社会人、転勤、新事業などと哀愁と希望を伴う人生そのものの節目のような月です。皆様はどのようなお気持ちでそれらを経験、乗り越えてこられましたか？

3月は会計年度の締めめの月です。明治19年にこの会計年度が制定されました。当時日本は農業主体の国でしたから、前年の稲作で得た収入を確定するのは3月が最適であったとのこと。官庁の都合で会計年度が生まれ、それに合わせて民間も、学校も取り入れました。

旧暦の「師走」は先生も走り出すほど慌ただしい感がありますが、「弥生」は、節目の月にしては何か優しい響きがあります。「弥生さん」と言う名前の女性、優しい細面の人を想像しませんか（私だけかも知れませんが） 優しい響きは桃の節句も関係あるのかなあ。

私たち「湘南御行会」も3月が締めめで、もうすぐ新たな年度をむかえます。4月は卯月（うづき）卯の花の花が咲く季節なので卯の花月と称する説が有力らしいです。

素晴らしい日本の文化のひとつ、旧暦は味が深いですね

岩田記

「湘南御行会」総会のお知らせ



「湘南御行会」総会を下記要領にて開催いたしますので、ご参集ください。

「湘南御行会」総会及び誕生懇親会

- 日時：5月3日（金）13時30分から15時
- 場所：片瀬しおさいセンター体育館
- 第1部 総会：
事業報告、決算報告、新年度事業計画案・予算案、役員人事 その他
- 第2部 誕生会及び懇親会⇒ 詳細は後報

会費納入のお願い

25年度、年会費 金額：1200円/1年間

3月から4月にかけて、担当班長が訪問いたします。ご協力ください。

今後の主な行事予定

- ◎ 4月23日（火）「片老連」主催日帰り旅行
東京スカイツリー 他（申し込み終了）
- ◎ 5月3日（金）13時30分
「湘南御行会」総会及び誕生会
場所：しおさいセンター体育館
- ◎ 日にち未定
片老連主催 歩け歩け大会

編集後記

ほんの10日ほど前迄防寒コートを着ていたのにこの2~3日暖かい日が続いています。いつの間にか満開になった梅の花も盛りを過ぎて、間もなく次の走者、桜の花にバトンを渡そうとしています。日本の四季は正確ですね。私の家に5年ほど前に孫が捕まえてきた、カメがいます。衣装箱の巣箱で冬を越しましたが、背中に緑色の苔を沢山背負って冬眠から目覚めた様子です。まだ餌は食べませんが、もうすぐ元気に動き始めます。私たちも元気に活動する 春はもうそこまで。

岩田